

A		
AN	そう	です
V		

A : A 辞

V : V ます

基本

例文

① ^{そつぎょうしき} 卒業式の日 ^ひ に ^{せんせい} 先生に ^{はな} バラの花 ^を をあげました。 ^{せんせい} 先生は ^{とて} とても ^{うれし} うれしそう ^で でした。

② (ケーキを見て)

わあ、おいしそう ^な なケーキ ^{です} ですね！

③ (盆踊りを見て)

A : ^{たの} みんな ^{おど} 楽しそうに ^踊 踊っています ^ね ね。

B : ええ。わたし ^{たち} たちも ^踊 踊り ^ま しょう。

④ A : ^{さいふ} ポケットから ^お お財布 ^が が ^お 落ち ^そ そうです ^よ よ。

B : あ、ありがとう。

⑤ A : あ！ ^{じてんしゃ} 自転車 ^が が ^た たおれ ^そ そうです ^よ よ。

B : ああ、たおれて ^し しまいました ^よ よ。

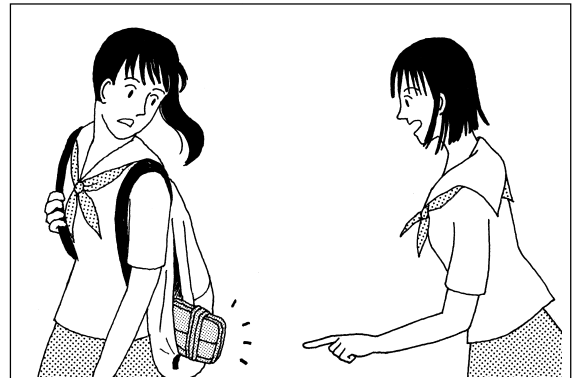
⑥ (テニスの練習のあと、空を見上げて)

^{あめ} 雨が ^ふ 降り ^そ そうです ^か だから、 ^{はや} 早く ^ぼ ボール ^を を ^{かた} 片づけて ^し しまい ^ま しょう ^よ よ。

⑦ ^{ことし} 今年の ^{ぶん} 文化祭 ^は は、 ^が と ^な なる ^が 学校の ^い いっ ^し しょ ^に に ^す するので、 ^お おお ^ぜ ぜ ^い い ^人 人が ^き 来 ^そ そうです ^よ よ。

⑧ A : ^{らいねん} 来年から ^だ × ^だ 大学の ^{にゅうがく} 入学試験 ^の の ^か 科目 ^が が ^へ 減 ^と と ^{せんせい} 先生 ^が が ^い 言 ^っ ています ^よ よ。

B : ^{じゃ} じゃ、 ^{じゅけんせい} 受験生 ^が が ^ふ 増 ^え え ^そ そうです ^ね ね。



例文 ④

- A. 見た目みめで、ものものの様子ようす・性質せいしつを推量すいりょうして述つべるときに使う。(例文①～③)
- B. Vで表あらわされる状況じょうきょうが起おこる直前ちよくぜんの状況じょうきょうを述つべるときに使う。(例文④⑤)
- C. 話し手はなてが現状げんじょうから判断はんだんした、これからVのよようになるだだらうという予想よそうや、そそうなる可能かのうせい性を述つべるときに使う。(例文⑥～⑧)
- D. 「そうです」文ぶんが名詞めいしや動詞どうしを修飾しゅうしょくするときは、「そんなN」「それにV」となる。(例文②③)

先生へ

- B. の場合、話し手はなての意志いし的な行為こうゐは表あらわせない。
 「そうです」の否定形ひていけいは、以下いげのよようになる。否定文ひていぶんは、A / AN / Vとなる見込みみこがない状態じょうたいであることを述つべるときに使う。

A	A くなさそうです
AN	AN ではなさそうです
V	V そうもありません

例1 (電車でんしゃが遅おくれて)

A: 一時間目いちじかんめに間まに合あいそうもないですね。

B: 遅刻ちこくですね。

2 先生せんせいは許ゆるしてくれそうもありません。どうでしょう。

「Nそうです」という形かたちはないが、「Nじゃなさそうです」の形かたちで使つかわれることがある。

例 あの人は学生ひとじゃなさそうです。

形容詞けいようし「いい」は、「よさそうです」となるので、注意ちゅういすること。

A. の場合、見みてすぐわかることには使つかえないので、「きれい、かわいい、背せが高い、太ふとっている」などを練習れんしゅうで使つかわないよちゅういうに注意ちゅういすること。

「そうです」(伝聞でんぶん) (p.238) とは、A、AN、Vの接続形せつぞくけいが違ちがうので注意ちゅういすること。

例 雨あめが降ふるそうです。(伝聞)

雨あめが降ふりそうです。(様態)

【関連項目】

文-78 そうです(伝聞)

【「れんしゅう編」の練習】

- 18-4 ジェスチャー・ゲーム
- 18-6 クラブ紹介
- 18-7 忙しい2学期